

# 平成20年度事業報告書

自：平成20年（2008）年4月 1日

至：平成21年（2009）年3月31日

## 1 演奏家の技能向上のための研修と成果の発表

### （1）「日演連推薦／新人演奏会」の実施（年間6回）

＝助成：文化庁芸術団体人材育成支援事業＝

＝助成：財団法人ソニー音楽芸術振興会＝

地域の音楽振興と新人演奏家の発掘を目的とした演奏会で、全国6地区で各地区のプロ・オーケストラの協力を得て開催した。各地域の音楽大学、音楽団体、教育者等の推薦を受けた多数の応募者を厳正なオーディションにより選抜し、合格者にオーケストラとの協演の機会を与えるという、新人演奏家にとっては貴重な発表の場を提供した。

- ・第144回 仙台地区 平成21年2月6日（金）仙台市青年文化センター・コンサートホール  
演奏：仙台フィルハーモニー管弦楽団 指揮：山下一史  
出演：白戸美帆（Fl）、菅原綾（Pf）、鎌田朋幸（Tp）、千葉さくら（Vn）  
共催：（財）仙台フィルハーモニー管弦楽団
- ・第145回 福岡地区 平成21年2月18日（水）福岡銀行本店大ホール  
演奏：九州交響楽団 指揮：黒岩英臣  
出演：松川久美子（Cl）、山本朝子（Pf）、小川和紘（Sax）、八尋三菜子（Pf）、  
共催：（財）九州交響楽団
- ・第146回 札幌地区 平成21年2月25日（水）札幌コンサートホールKitara 大ホール  
演奏：札幌交響楽団 指揮：高関 健  
出演：四十谷諒（Fl）、水上恵理（Sop）、日小田直美（Pf）、森希美（Pf）、  
佐藤朋子（Sop）、中村育（Pf）  
共催：（財）札幌交響楽団／北海道新聞社  
協賛：（財）道銀文化財団  
後援：北海道教育委員会／札幌市・札幌市教育委員会
- ・第147回 名古屋地区 平成21年3月4日（水）愛知県芸術劇場コンサートホール  
演奏：名古屋フィルハーモニー交響楽団 指揮：竹本泰蔵  
出演：鈴木一成（Fg）、野村友紀（Vc）、日下部任良（Sax）、能勢健司（Br）、  
宮本未央（Pf）  
共催：（財）名古屋フィルハーモニー交響楽団／中日新聞社  
後援：ヤマハ株式会社
- ・第148回 大阪地区 平成21年3月6日（金）ザ・シンフォニーホール  
演奏：大阪フィルハーモニー交響楽団 指揮：円光寺雅彦  
出演：蒲生祥子（Pf）、吉村暢気（Tb）、大谷圭介（Br）、山寺由利子（Ms）、  
久保千尋（Pf）  
共催：（社）大阪フィルハーモニー協会  
後援：朝日放送
- ・第149回 広島地区 平成21年3月19日（木）アステールプラザ大ホール  
演奏：広島交響楽団 指揮：小田野宏之  
出演：上垣内寿光（Gt）、志茂嘉彦（Ob）、内山望美（Sop）、  
石原有希子（Mb）  
共催：（社）広島交響楽協会  
後援：中国新聞社

(2)「演連コンサート」の実施(年間・東京10回、大阪4回、札幌2回、名古屋2回、福岡1回 計19回)

＝助成：文化庁芸術団体人材育成支援事業＝

リサイタル開催を希望する新人演奏家を広く公募し、厳正なオーディションによって優秀な演奏家を選抜し、当連盟が公演に係る諸経費を負担してデビューの場を提供した。

今年度は昨年に引き続き東京、大阪、札幌、名古屋、福岡でオーディションを実施し、各地区でリサイタルを実施した。

・応募状況：東京地区	Pf21、Vn6、Vc2、Fl1、Cl3、声楽11	計44名
大阪地区	Pf10、Vn2、Fl1、声楽2	計15名
札幌地区	Pf5、Fl3、Cl1、声楽2	計11名
名古屋地区	Pf4、声楽3	計7名
福岡地区	Pf2	計2名

・「演連コンサート」 東京文化会館小ホール

- #199 平成20年 4月19日(土) 齋藤咲恵ヴァイオリン・リサイタル
- #200 平成20年 5月18日(日) 大宅さおりピアノ・リサイタル
- #201 平成20年 6月15日(日) 澤田まゆみピアノ・リサイタル
- #202 平成20年 7月19日(土) 松井亜希ソプラノ・リサイタル
- #203 平成20年 9月14日(日) 海野幹雄チェロ・リサイタル
- #204 平成20年10月18日(土) 向山美穂ピアノ・リサイタル
- #205 平成20年11月 3日(月) 末永貴与クラリネット・リサイタル
- #206 平成20年12月 7日(日) 湯浅桃子ソプラノ・リサイタル
- #207 平成21年 1月24日(土) 末永匡ピアノ・リサイタル
- #208 平成21年 2月15日(日) 福田弘子ソプラノ・リサイタル

・「演連コンサートOSAKA」 大阪いずみホール 協賛・いずみホール

- #49 平成20年 5月14日(水) 晴雅彦バリトン・リサイタル  
(大阪文化祭賞奨励賞)

- #50 平成20年 6月27日(金) 中司麻希子ピアノ・リサイタル
- #51 平成20年10月24日(金) 高石香ピアノ・リサイタル
- #52 平成20年11月28日(金) 小川真由美ピアノ・リサイタル

・「演連コンサートSAPPORO」 札幌コンサートホール Kitara 小ホール

- #7 平成21年 1月12日(月) 太田有香ピアノ・リサイタル
- #8 平成21年 3月 7日(土) 安澤瑞恵ピアノ・リサイタル

・「演連コンサートNAGOYA」 名古屋ザ・コンサートホール(電気文化会館)

- #7 平成21年 1月29日(木) 戸谷誠子ピアノ・リサイタル
- #8 平成21年 2月10日(火) 伴真由子ソプラノ・リサイタル

・「演連コンサートFUKUOKA」 福岡あいれふホール

- #4 平成21年 3月10日(火) 原絢子・幸田裕子ジョイント・リサイタル

(3)「山田康子奨励・助成コンサート」(6公演助成)

ピアニストの故山田康子さんから提供を受けた資金をもとに、会員が主催する意欲的かつ創造的な演奏会に対して経済的な援助を行なう事業で、助成枠を年間6公演以内とし、常任理事会で審査して決定している。今年度は6公演を採択、助成した。

(総申請件数 21件)

- ・平成20年 4月22日(火) 第19回寛聰子メゾソプラノリサイタル春の宵に  
／ザ・コンサートホール(電気文化会館)
- ・平成20年 4月23日(水) 阿部裕紀子ピアノリサイタル／津田ホール
- ・平成20年 7月18日(金) 林裕チェロリサイタル  
／兵庫県立芸術文化センター小ホール

- ・平成20年11月28日(金) 高木早苗ピアノリサイタル  
／すみだトリフォニーホール小ホール
- ・平成21年 1月27日(火) 長谷川陽子 三大チェロ・ソナタを弾く 憧憬と変革  
～未来への展望／紀尾井ホール
- ・平成21年 3月 1日(日) 井上郷子ピアノリサイタル#18～松平頼暁、近藤謙作品集  
／東京オペラシティ・リサイタルホール

#### (4) 日本演奏連盟の後援名義使用承認状況

会員が主催するリサイタル及び室内楽、または各種演奏団体が主催する催事について<後援名義使用申請>を受けて常任理事会で協議し、後援名義使用を承認した。

- ・年間申請件数 130件 うち承認件数 130件

#### (5) 「コンサート・アシスト」事業の実施

演連コンサートなどで蓄積したノウハウをいかし、演奏家の自主リサイタルの開催を有料でサポートする事業を19年度より開始した。今年度は2公演のマネジメントとなった。

- ・平成20年4月11日(金) 菊地裕介メシアン生誕100年プロジェクト第1弾  
／すみだトリフォニーホール小ホール
- ・平成20年9月18日(木) 会田道孝(作曲・ピアノ)コンサート～源氏物語に寄せて  
／東京オペラシティリサイタルホール

## 2 音楽に関する指導及び啓蒙

### (1) 「ガブリエッラ・トゥッチ 声楽家のための公開マスタークラス」

＝助成：文化庁芸術団体人材育成支援事業＝

世界のトップクラスの指導者を海外から招へいし、我が国の芸術分野の担い手に指導・助言を与えてもらうことにより、我が国の芸術文化の振興を図ることを目的としたもの。今年度は、世界の歌劇場で80以上のオペラのタイトルロールを演じたイタリアのソプラノ歌手ガブリエッラ・トゥッチ氏を招聘し、東京、名古屋、大阪、川崎の4地区で、声楽家のための公開マスタークラスを計5回開催した。

- ・平成20年12月 4日(木) 東京／イタリア文化会館アネッリホール
- ・平成20年12月 5日(金) 東京／イタリア文化会館アネッリホール
- ・平成20年12月 8日(月) 名古屋／宗次ホール
- ・平成20年12月 9日(火) 大阪／ザ・フェニックスホール
- ・平成20年12月10日(水) 川崎／昭和音楽大学ユリホール

## 3 音楽普及のための活動

### (1) 「2009都民芸術フェスティバル」の実施

＝助成：東京都＝

都民芸術フェスティバルは、東京都が助成する恒例の祭事で、新春を彩る行事として今回で41回を迎えた。20年度は広範な芸術ジャンルの中から11部門、62公演が実施されたが、当連盟はこのうちのクラシック音楽部門を開催した。

#### ①オペラ(3団体 9公演)

- ・ボンキエリ作曲「ラ・ジョコンダ」(財)日本オペラ振興会・<直接事業>  
藤原歌劇団公演 平成21年1月31日(土)、2月1日(日)、2日(月)  
東京文化会館大ホール
- ・リゲティ作曲「ル・グラン・マカーブル」東京室内歌劇場・<直接事業>  
東京室内歌劇場公演 平成21年2月7日(土)、8日(日)  
新国立劇場中劇場

- ・ヴェルディ作曲「ラ・トラヴィアータ」(財)東京二期会・<直接事業>  
東京二期会オペラ劇場公演 平成21年2月12日(木)、13日(金)、  
14日(土)、15日(日)  
東京文化会館大ホール

- ②オーケストラ(8団体 8公演) 東京芸術劇場大ホール
  - ・平成21年1月31日(土)演奏:東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団  
指揮:飯守泰次郎 ピアノ:菊地裕介
  - ・平成21年2月4日(水)演奏:読売日本交響楽団  
指揮:小林研一郎 ヴァイオリン:藤川真弓
  - ・平成21年2月18日(水)演奏:東京都交響楽団  
指揮:マーティン・ブラビンス ピアノ:仲道郁代
  - ・平成21年2月27日(金)演奏:NHK交響楽団  
指揮:カルロス・シュピーラー クラリネット:ポール・メイエ
  - ・平成21年3月4日(水)演奏:東京交響楽団  
指揮:飯森範親 ピアノ:今野尚美
  - ・平成21年3月12日(木)演奏:日本フィルハーモニー交響楽団  
指揮:梅田俊明 ヴァイオリン:竹澤恭子
  - ・平成21年3月22日(日)演奏:東京フィルハーモニー交響楽団  
指揮:渡邊一正 ピアノ:小山実稚恵
  - ・平成21年3月26日(木)演奏:新日本フィルハーモニー交響楽団  
指揮:ゲルハルト・ボッセ チェロ:山崎伸子
- ③室内楽(2団体 2公演) 東京文化会館小ホール
  - ・平成21年1月28日(水)篠崎史紀「室内楽の夕べ」  
ヴァイオリン:篠崎史紀・白井篤 ヴィオラ:小野富士 チェロ:桑田歩  
クラリネット:豊永美恵
  - ・平成21年3月5日(木)清水和音「ピアノ三重奏の夕べ」  
ピアノ:清水和音 ヴァイオリン:松田理奈 チェロ:向山佳絵子

## (2)「日本演奏連盟第20回クラシックフェスティバル」の実施

- =助成:芸術文化振興基金=
- =助成:社団法人私的録音補償金管理協会(sarah)=
- =助成:財団法人三菱UFJ信託芸術文化財団=
- =助成:財団法人ロームミュージックファンデーション=

会員の協力を得て開催する恒例の演奏会。20年度はクラシックフェスティバルの20回を記念して、スペシャル・ガラ・コンサートを開催し、多くの聴衆を集めた。

- ・平成20年5月1日(木)東京文化会館大ホール  
<第20回記念スペシャル・ガラ・コンサート>  
指揮・お話:飯森範親  
フルート:高木綾子 ハープ:吉野直子 ピアノ:清水和音  
ヴァイオリン:堀米ゆず子 ソプラノ:高橋薫子 ヴァイオリン:大谷康子  
チェロ:堤剛 ピアノ:中村紘子  
管弦楽:フェスティバル・オーケストラ

## 4 国際交流に係わる芸術活動の提携

### (1)文化庁新進芸術家海外研修員の推薦<平成21年度派遣対象>

文化庁の依頼により、音楽部門の推薦団体の一員として応募の取りまとめを行なった。当連盟の推薦者数、内定者数は次のとおり。

(1年派遣の下段は18歳未満対象で募集人員は音楽と舞踊の合計)

派遣期間	募集人員(音楽)	日演連推薦者数	3月末日演連推薦・内定者
1年派遣(350日)	30名	34名	7名
	10名	—	—
2年派遣(700日)	5名	3名	—
3年派遣(1,050日)	1名	—	—
特別派遣(80日)	10名	6名	1名
計	56名	43名	8名

## 5 演奏家の利益擁護及び福祉厚生

### (1) 芸術文化予算の拡大と芸術文化振興のための活動

芸術家会議、日本芸能実演家団体協議会(芸団協)、東京都芸術文化団体協議会等と協力し、国や地方自治体の文化予算の拡大や、各種の法的基盤の整備について活動した。

平成21年度の国家予算は一般歳出で前年度当初予算より4兆4千億円増の51兆7千億円となったものの、社会保障費の伸びが3兆円で大半を占め、その他の多くはほとんど減額となった。そうした中、文化庁予算は2億円増の1,020億円となり、3年連続でアップし、これまでの最高額となった。しかし国内の経済状況は一段と厳しさを増しており、今後、国への政策提言や国会議員への陳情活動等を行っている芸術家会議の活動をさらに活発化させなければならない。

### (2) 著作隣接権の権利擁護と個人分配到協力

演奏家権利処理合同機構 Music People's Nest (MPN) を構成、運営する団体の一つとして、演奏家の著作隣接権報酬が適正に分配されるよう、広報活動、委任契約促進活動などを積極的に行なった。

また、MPNに設置したMPNクラシック委員会(日本オペラ連盟、日本音楽家ユニオン、日本オーケストラ連盟、日本演奏連盟)の中心となってクラシック部門の報酬分配のための作業を積極的に推し進め、2004年度分クラシック個人分配の作業を行なった。

分配件数…618件

### (3) 福祉厚生に関する互助業務

互助規程に則り、互助給付を行なった。

・互助給付の最近の実績

(単位:千円)

給付内容	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
入院給付	2,110(28件)	1,995(24件)	1,870(25件)	1,315(15件)
死亡給付	790(11件)	760(10件)	650(8件)	480(5件)
健診補助給付	152(51件)	295(99件)	212(72件)	231(81件)
永年祝金給付	966(19件)	1,236(23件)	1,950(36件)	788(17件)
合計	4,018(109件)	4,286(156件)	4,682(141件)	2,814(118件)

### (4) 芸能人年金、芸能に従事する人の国民健康保険等の事務取り扱い

芸団協が管理している芸能人年金、東京芸能人国民健康保険組合が管理する芸能人国民健康保険への加入の事務取扱いを行なった。

平成 21 年 3 月末現在の加入状況は、次のとおり。( ) 内は前年実績

- ・ 芸能人年金加入者 213 人 (234 人) 年金受給者 179 人 (169 人)
- ・ 芸能人国民健康保険加入者 74 人 (84 人)

また、当連盟と提携している東京海上日動火災保険株式会社との所得補償保険、傷害保険の事務手続きを行なった。

**(5) 会員のための税務相談**

顧問税理士による会員のための税務相談を確定申告時期に実施し、申告書作成に協力した。

**6 出版事業と情報の収集・発信**

**(1) 機関紙・月刊「えんれん」の発行と情報誌「ぶらあぼ」の配布**

B 5 判 8 頁建 3,700 部 会員及び関係団体等に無料配布。

**(2) 「演奏年鑑 2009 音楽資料 (通巻第 35 号)」の刊行**

＝助成：文化庁芸術活動基盤充実事業＝

B 5 判 550 頁 1,500 部 関係機関及び資料提供団体等に配布。

**(3) 「日本演奏連盟会員名簿」(年 1 回)の発行**

B 5 判 126 頁 3,550 部 11 月に全会員に配布。

**(4) 世界の国際音楽コンクール開催要項の収集と情報提供**

**(5) ホームページによる情報発信**

ホームページを活用し、演連ニュース、事業・催事案内、入会案内、著作隣接権に関する情報等、会員との情報交換を行なった。